



地質調査所報告

第二百二十四號

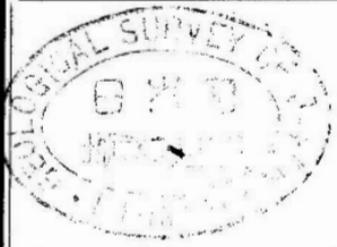
(昭和十五年事業報告)



地質調査所報告 第二百二十四號 昭和十七年二月

目次

昭和十五年度事業報告



昭和十五年度事業報告

目次

一、地質調査所機構改正	一頁
二、地質鑛床調査第一部、第二部擔當	四頁
一 圖幅地質調査	四頁
二 圖幅鑛床調査	五頁
三 特別調査(官民受託ヲ含ム)	六頁
三、燃料地質調査第三部擔當	八頁
一 油田地質精査	八頁
二 特別調査(官民受託ヲ含ム)	九頁
三 試錐	一一頁

四、物理探鑛及試錐第四部擔當……………一一頁

一 鑛床探査……………一二頁

二 油田探査……………一四頁

三 特別探査(官民受託ヲ含ム)……………一六頁

四 試錐……………一八頁

五、測量及製圖(第五部擔當)……………一八頁

甲、測量……………一八頁

一 地質鑛床調査ニ伴フ測量……………一八頁

二 燃料地質調査ニ伴フ測量……………一九頁

三 物理探鑛及試錐ニ伴フ測量……………二一頁

乙、製圖……………二四頁

一 圖幅……………二四頁

二 地質鑛床圖……………二四頁

三	油田地形及地質圖	二五頁
四	物理探鑛圖	二六頁
五	受託調査ニ伴フ製圖	二六頁
六	特別圖	二六頁
七	製圖參考資料調査	二六頁
六、	分析及品質試驗(第六部擔當)	二七頁
一、	分析試驗	二七頁
二	特別試驗	二八頁
三	特別調査	二八頁
七、	報告會	二九頁
八、	庶務及會計(庶務課擔當)	二九頁
一	職員	三〇頁
二	經費	三九頁

三 出版物……………四〇頁

四 文庫……………四二頁

五 鑛物陳列館……………四四頁

昭和十五年事業報告

地質調査所長

山

根

新

次

一、地質調査所機構改正

今次事變勃發以來我鑛業部門ニ於ケル急激ナル生産力擴充ノ必要ハ頓ニ地質調査事業ノ重要性ヲ加フルニ至リタルヲ以テ、經常事業ノ促進ニ力ヲ致スト共ニ臨時事業トシテ油田調査、鑛床調査、物理探鑛等ヲ實施シ、所期ノ成果ヲ收メツ、アルカ時局ノ進展ニ伴ヒ、緊急調査ヲ要スルモノ益々多キニ上リ、一方長期建設ニ備フヘキ基礎的調査モ亦其ノ要頗ル緊切ナルモノアリ、仍テ之ニ即應センカ爲、本所ノ機構ヲ新ニシ、其ノ内容ヲ充實シ、以テ各種事業ノ遂行及其ノ能率ノ増進ヲ圖ルノ極メテ肝要ナルニ鑑ミ、茲ニ本年十月十五日左記官制ノ公布及之ニ伴フ處務規程ノ設定ヲ見ルニ至レリ

勅令第六百六十七號

地質調査所官制

第一條 地質調査所ハ商工大臣ノ管理ニ屬シ地質調査鑛床及水脈ノ調査ヲ含ムニ關スル事務ヲ掌ル

地質調査所ハ前項ノ規定ニ依ル事務ニ妨ナキ限り一般ノ依頼ニ應シ地質調査鑛床及水脈ノ調査ヲ含ムヲ爲スコトヲ得

第二條 地質調査所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

技師 專任十一人 奏任 内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

屬 同 一人 判任

技手 同 二十人 同

所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 所長ハ商工大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

附、則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

商工省訓令第七號

地質調査所處務規程

第一條 地質調査所ニ第一部、第二部、第三部、第四部、第五部、第六部及庶務課ヲ置ク

第二條 第一部ニ於テハ地質調査ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條 第二部ニ於テハ鑛床調査、石炭及石油ニ關スルモノヲ除クニ關スル事務ヲ掌ル

第四條 第三部ニ於テハ石炭及石油ノ鑛床調査ニ關スル事務ヲ掌ル

第五條 第四部ニ於テハ物理探鑛及試錐ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 第五部ニ於テハ測量及製圖ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 第六部ニ於テハ分析及品質試驗ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 官印ノ保管ニ關スル事項

二 所員ノ進退身分ニ關スル事項

三 所内取締ニ關スル事項

四 文書ノ接受發送及保管ニ關スル事項

五 圖書及事業報告ニ關スル事項

六 豫算及決算竝ニ會計ニ關スル事項

七 國有財産及物品ニ關スル事項

八 他部ノ主掌ニ屬セサル事項

第九條 所長處務細則ヲ設ケタルトキハ商工大臣ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十條 所長ハ毎年事業ノ成績ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

以上

二、地質鑛床調査(第一部、第二部擔當)

一、圖幅地質調査

本年度ニ於テ調査シタル七萬五千分之一地質圖幅ハ其ノ數三ニシテ圖幅名調査員其ノ他左ノ如シ

(圖幅名)

(調査員)

(外業期間)

(記)

事)

鬼

首

早川・技手

昭和十五年(自六月十二日
至十月十一日)

前年度着手調査完了

船津	近藤技師	昭和十五年	自六月二十二日	本年度着手	調査完了
山形北部	別所技師	同	自八月十八日	同	調査未了

二、圖幅鑄床調査

本年度ニ於テ七萬五千分之一圖幅地内ニ於ケル鑄床調査ヲ施行シタルモノ其ノ數六圖幅ニシテ圖幅名調査員其ノ他左ノ如シ

浪江	津和野	和歌山	鹽原	久世	鬼首	(圖幅名)	(調査員)	(外業)	(期間)	(記事)
千藤技師	宮本技師	田中技師	岩生技師	山田技師	片山(信)技師 早川技師					
昭和十六年	自昭和十五年 至同十六年	自昭和十五年 至同十六年	昭和十五年	自昭和十五年 至同十六年	自昭和十五年 至同十六年					
三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日					
同	同	同	本年度着手	同	前年度着手					
同	同	同	同	同	同					

三、特別調査（官民受託ヲ含ム）

（調査地及調査種目）

（調査員）

（外業期間）

（記事）

長野、新潟、茨城、北海道 各縣下滿俺鐵

吉村技師

昭和十五年 自八月二十五日至八月十二日

新潟縣下地質調査

河野技師

同 年 自六月二十二日至七月八日

關東州及滿洲ニ於ケル鐵山視察

片山（信）技師

同 年 自八月三十日至八月三十日

北海道御三岳豐國鐵山滿俺鐵

吉村技師

同 年 自十月三十一日至十月三十一日

東京府三宅島地質調査

河野技師

同 年 自十一月二十八日至十二月二十八日

長野縣下滿俺鐵

吉村技師

同 年 自十二月十三日至十二月十三日

愛知縣下滿俺鐵

同

昭和十六年 自一月十七日至一月十七日

福岡、長崎、熊本各縣下石綿

藺部技師

同 年 自三月三十一日至三月三十一日

群馬、静岡、福島、廣島、兵庫、島根、山口、福岡、宮崎、鹿兒島、熊本各縣下鐵

齋藤技師

同 年 自二月十三日至三月十三日

北海道龜田郡鐵床

別所技師

同 年 自二月二十一日至三月二十一日

和歌山	大阪、岡山 山口、廣島	愛媛 大阪、高知	蒙疆地 區鐵、石炭	青森縣 中津輕郡西田屋村川原澤鐵山	岐阜縣 山縣武儀郡日永鑛山螢石鑛床	山梨縣 東山梨郡西保村硫黃鑛床	✓ 樺太 富内郡砂クローム調査	富山縣 下新川郡硫磺化鐵鑛床	同 中 新川郡立山村硫黃調査	北海道 檜山郡上ノ國村地質鑛床	北海道 岩手縣下滿庵鑛
-----	----------------	-------------	--------------	----------------------	----------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	----------------

鈴木技師	早川技手	吉村技師	藺部技師	八木技師	鈴木技師	岩生技師	鈴木技師	吉村技師	近藤技師	吉村技師	同
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---

昭和十六年	同	同	昭和十五年	同	同	同	同	同	同	同	同
自二月二十七日至三月六日	自三月三十一日至三月三十一日	自三月三十一日至三月三十一日	自四月三十日至十月二十六日	自五月八日至五月八日	自五月十九日至五月十九日	自五月二十九日至五月二十九日	自六月二十三日至六月二十六日	自九月十七日至九月十七日	自十月十六日至十月十六日	自十一月十一日至十一月十一日	自十一月二十三日至十一月二十三日

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	受託調査
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

大分縣下毛郡槻木村金鐵調査

鈴木技師

昭和十六年(自三月十三日至三月二十二日)

受託調査

以上ノ外興亞院囑託トシテ紺野技師南支、八木技師、近藤技師申支へ、鈴木技師蒙疆へ出張鑛床調査ニ從事シ、岩生技師ハ南洋廳囑託トシテ地質調査ニ從事セリ

三、燃料地質調査(第三部擔當)

本年度ニ於テ施行シタル油田地質精査、試錐竝ニ特別調査ノ各調査區域調査員共ノ他左ノ如シ

一、油田地質精査

(油 田 名)	(調 査 員)	(外 業 期 間)	(記 事)
新 長 野 湯 野 縣 縣 富 倉	森 島 技 手	昭 和 十 五 年 自 五 月 二 十 二 日 至 八 月 二 十 二 日	
秋 田 縣 龜 田 油 田 北 部	片 山 (勝) 技 師	同 年 自 五 月 二 十 四 日 至 九 月 四 日	
北 海 道 湯 海 縣 當 村 關 山 別 松 山	橋 本 技 師	同 年 自 五 月 二 十 五 日 至 九 月 二 十 五 日	

二、特別調査 (官民受託ヲ含ム)

青森縣 錦ヶ澤	八木技師	昭和十五年	自五月二十八日
長野縣 豊井	竹原技師	同	自六月十七日
北海道 千歳油田北部	兼子技師	同	自八月十一日
新海縣 西山油田北部	池邊技師	同	自十一月二十八日
		年	自八月二十六日
		年	自十一月二十五日

(調査件名)	(調査員)	(外業期間)
秋田縣 山本郡 鶴川村 試錐地調査	千谷技師	昭和十五年
新海縣 北蒲原郡 築地村 試錐地調査	同	自四月二十七日
秋田縣 山本郡 鶴川村 試錐地調査	同	自五月二十三日
新海縣 北蒲原郡 木崎村 試錐地調査	同	自五月二十九日
同 西蒲原郡 赤塚村 試錐地調査	同	自八月二十六日
同 北蒲原郡 築地村及木崎村 試錐地調査	三土技師	自八月三十一日
同 西蒲原郡 赤塚村 試錐地調査	同	自十一月二十五日
秋田縣 河邊郡 仁井田村 試錐地調査	同	自十一月二十五日
山形縣 飽海郡 西邊佐村 試錐地調査	同	自十一月二十五日
新海縣 西蒲原郡 赤塚村及角田村 試錐地調査	同	自十一月二十五日
長野縣 下天然瓦斯調査	片山(勝)技師	同

(記事)

新潟縣西蒲原郡赤塚村及角田村試錐地調査

秋田縣河邊郡仁井田村試錐地調査
山形縣飽海郡西遊佐村試錐地調査

秋田縣由利郡小國油田鑛床調査

宮崎縣下天然瓦斯調査

新潟縣古志郡東山油田坑道掘調査

同 北蒲原郡黒川油田鑛床調査
山形縣飽海郡西遊佐村試錐地調査
秋田縣由利郡小瀧油田鑛床調査
同 河邊郡仁井田油田鑛床調査

新潟縣刈羽郡別山油田鑛床調査

蒙疆地區石炭及石油調査

新潟縣刈羽郡油田地質調査

蒙疆地區石炭及石油調査

宮崎縣西諸縣郡加久藤村外二村天然瓦斯調査

千葉縣夷隅郡大多喜町天然瓦斯調査

池邊技師

昭和十六年 自一月十八日 至一月二十四日

受託調査

三土技師

同 年 自一月二十九日 至二月二十四日

橋本技師

同 年 自二月二十一日 至三月二十一日

竹原技師

同 年 自三月三十一日 至三月三十一日

兼子技師

同 年 自三月二十五日 至三月二十一日

池邊技師

同 年 自三月十五日 至三月十五日

金原技師

昭和十五年 自四月三十日 至十月二十六日

千谷技師

同 年 自六月十日 至六月十二日

竹原技師

同 年 自九月二十二日 至十二月十八日

八木技師

同 年 自十一月二十二日 至十一月四日

三土技師

同 年 自十一月二十九日 至十二月三日

同

同

同

同

同

同

以上ノ外松澤技師ハ興亞院囑託トシテ北支那方面ニ出張シ石炭調査ニ從事セリ

三、試 錐

	(試 錐 地)	(試錐深度)	(記 事)
秋田縣山本郡鷓川村(第二號試錐)		三〇〇*	完了
河邊郡仁井田村(第一號試錐)		二九一	地層崩壞ノ爲上記深度ヲ以テ中止ス
同 (第二號試錐)		三〇〇	完了
山形縣飽海郡西遊佐村		三〇〇	同
新潟縣北蒲原郡築地村		三〇〇	同
同 木崎村		三〇〇	前年度ヨリ繼續、本年度完了
同 中蒲原郡小須戸町		一一三、九四	前年度ヨリ繼續、地層崩壞ノ爲上記深度ヲ以テ中止ス
同 西蒲原郡赤塚村(第一號試錐)		三〇〇	完了
同 (第二號試錐)		三〇〇	同
同 角田村(第一號試錐)		三〇〇	同

四、物理探鑛及試錐(第四部擔當)

本年度ニ於テ施行シタル物理探鑛及試錐左ノ如シ

一、鑛床探查

(調査地)

(探鑛法)

(調査員)

(野外調査期間)

栃木縣鹽谷郡栃木鑛山

宮城縣刈田郡戸澤鑛山

同 宮鑛山

鳥根縣簸川郡鵜峠鑛山

北海道紋別郡鴻ノ舞鑛山

同 檜山郡早川鑛山

岩手縣紫波郡大萱生鑛山

宮城縣本吉郡大谷鑛山

滋賀縣栗太郡五百井鑛山

京都府南桑田郡大谷鑛山

同 船井郡鐘打鑛山

鳥取縣東伯郡高城鑛山

電氣探鑛

同

同

服部技師

金井技手

穴戸雇

福永技師

野口技手

服部技師

金井技手

穴戸雇

野口村口技師
田島村口技師
中島村口技師
福永技師

福永技師

昭和十五年 自五月二十一日至八月二十一日

同 年 自七月二十三日

同 年 自五月二十五日

同 年 自十一月十六日

昭和十五年 自七月二十六日

同 年 自八月二十一日

青森縣中津輕郡千歲鑛山
同 南津輕郡湯澤鑛山

和歌山縣那賀郡光永鑛山
同 海草郡禰宜鑛山

岩手縣江刺郡栗木鑛山
新潟縣中蒲原郡七谷村
同 南蒲原郡森町村

長野縣南佐久郡大日向鑛山
奈良縣吉野郡洞川鑛山
群馬縣利根郡大道鑛山

北海道沙流郡八田鑛山

電氣探鑛

同

磁力探鑛

同

同

磁力及重
力探鑛

紺野技師

昭和十五年 自六月二十九日
至八月二十九日

室住技師

同 年 自七月二十九日
至八月二十九日

野口技師

渡邊技師

福永技師

昭和十六年 自二月二十七日
至三月二十七日

金井技師

佐藤技師

同 十五年 自六月五日
至八月五日

烏田雇

同 十五年 自八月五日
至十月五日

同

佐藤技師

同 年 自八月二十九日
至十月二十九日

栗原技師

同 十六年 自二月三十一日
至二月三十一日

淵田技師

村上技師

同 十五年 自七月五日
至八月五日

井上技師

二、油田探査

(調 査 地)

北海道石狩郡石狩町、生振村地方

静岡縣榛原郡地方

新潟縣西蒲原郡赤塚村、角田村、松野尾村
同、南蒲原郡加茂町、田上村、庄瀬村、小林村、美曾根村、須田村

新潟縣北蒲原郡長浦村、神山村

(探鐵法)

重力探鐵

同

同

地震探鐵

(調 査 員)

淵田技師

村上技師

松元技手

井上技手

淵田技師

松元技手

村上技師

井上技手

波江野技師

栗原技手

直井技手

白土技手

松元技手

蜷川技手

下

(野 外 調 査 期 間)

昭和十五年〔自八月六日至九月五日〕

同十六年〔自三月二十八日至三月二十七日〕

同十五年〔自十二月九日至十二月一日〕

同、
年〔自四月二十一日至四月二十一日〕

北海道石狩郡石狩町、當別村、厚田郡厚田村

同

新潟縣北蒲原郡黒川村、中條町、乙村、築地村

地震探鏡

同

同

栗城職工	勝山職工	波江野技師	栗原技手	竹田履	田中履	廣澤履	山崎職工	飯田技師	直井技手	保科履	下履	大瀧履	平林履	波江野技師	栗原技手	竹田履	田中履
------	------	-------	------	-----	-----	-----	------	------	------	-----	----	-----	-----	-------	------	-----	-----

昭和十五年〔自十一月十三日至十一月十四日〕

同

年〔自十一月九日至十一月十七日〕

自昭和十五年十二月四日至同

北海道札幌市、札幌郡豊平町、白石村、新潟縣西蒲原郡赤塚村、角田村、松野尾村、内野町

山形縣飽海郡觀音寺村、大澤村、南遊佐村、西遊佐村、本楯村、西荒瀬村、秋田縣由利郡院内村、平澤町、金浦町

三、特別探查

同

地震探鑛

勝山職工	下藤履	伊藤履	田中履	半井履	蟻川技手	古澤技手	白土技手	西川技師	平林履	大瀧履	下科履	保井技手	飯田技師	山崎職工	廣澤履
------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	-----

同 十五年 自六月十三日至八月十四日

昭和十五年 自八月五日至五月五日

自昭和十五年十一月十七日至同十六年十一月十七日

(調 査 地)

江蘇省南京紫金山(銅鑛)

安徽省當塗縣南山(黃鐵鑛)

同 銅陵縣銅官山(黃鐵鑛)

江蘇省南京紫金山(鐵鑛)

同 江寧縣王山(滿俺鑛)

安徽省蕪湖縣大赭山小赭山(滿俺鑛)

江蘇省銅山縣柳泉炭鑛

北海道釧路郡鳥取村、阿寒郡阿寒村
白糠郡白糠村 (炭田)

(探鑛法)

電氣探鑛

磁力探鑛

地震探鑛

同

(調 査 員)

紺野技師

室住技手

野口技手

淵田技師

松元技手

西川技師

白土技手

古澤技手

蟻川技手

半井履

伊藤履

勝山職工

波江野技師

栗原技手

竹田履

田中履

廣澤履

山崎職工

(野 外 調 査 期 間)

自昭和十五年十一月十七日

至同十六年二月五日

自同十五年十一月十七日

至同十六年二月四日

昭和十五年 自十二月五日

至十二月十六日

同 年 自八月二十九日

至十二月二十七日

同 年 自九月二十七日

至十二月二十七日

同 年 自十一月十四日

至十二月三十一日

四、試

錐

青森縣上北郡高森鑛山
 福島縣南會津郡大宮鑛山

(試) 錐地

(深度)

(筒數)

(作業員)

(作業期間)

一〇〇米
 七〇米
 六三〇米
 六〇米
 四八米

一

小林職工

昭和十五年 自六月二十日
 至八月二十日
 自昭和十五年八月二十一日
 至同十六年一月十八日

五、測量及製圖(第五部擔當)

甲、測量

一、地質鑛床調査ニ伴フ測量

本年度ニ於テ施行シタル地質鑛床調査ニ伴フ測量ハ左ノ如シ

(測量地名)

(測量員)

(外業期間)

(記事)

蒙疆地區地質鑛床調査

加々美技手

昭和十五年 自四月二十六日
 至十月二十六日

蘭部技師ノ受託調査ニ伴フ

同

及川囑託

同 年 自六月十五日
 至九月十五日

北支地區地質鑛床調査

鈴木(昇)技手

自昭和十五年九月三日
 至同十六年一月十四日

松澤技師ノ受託調査ニ伴フ

蒙疆地區地質鑛床調査

南支地區地質鑛床調査

富山縣中新川郡立山硫黃鑛床

內南洋地區地質鑛床調査

福岡、長崎、熊本各縣下石綿鑛床

和歌山縣下金屬鑛床調査

岡山縣下金屬鑛床調査

鈴木(正)技手

橋本技手

藤本技手

篠木技手

山田 颯託

山田(千)技手

宮澤技手

中澤技手

小松技手

鈴木(正)技手

金子(政)技手

昭和十五年 自九月四日 至十二月八日

同 年 自十一月十六日 至十一月十六日

同 年 自十月十六日 至十月二十一日

昭和十六年 自一月二十日 至三月三十一日

同 年 自二月十一日 至三月六日

同 年 自二月二十五日 至三月六日

同 年 自三月十一日 至三月二十一日

鈴木技師ノ受託調査ニ伴フ

紺野技師ノ受託調査ニ伴フ

近藤技師ノ受託調査ニ伴フ

岩生技師ノ受託調査ニ伴フ

蘭部技師ノ調査ニ伴フ

鈴木技師ノ調査ニ伴フ

山田技師ノ調査ニ伴フ

二、燃料地質調査ニ伴フ測量

本年度ニ於テ施行シタル燃料地質調査ニ伴フ測量ハ左ノ如シ

(測 量 地 名)

(測 量 員)

(外 業 期 間)

(記 事)

蒙疆地區石炭地質調査

小松技手

昭和十五年 自四月三十日 至十二月八日

金原技師ノ受託調査ニ伴フ
竹原技師ノ受託調査ニ伴フ

秋田縣龜田油田北部

同

青森縣鯨ヶ澤油田

同

長野縣豊井油田

同

同

新潟縣、長野縣、富倉油田

新潟縣村松油田、關山油田

北海道千歳油田北部

和田 技手
茅山 技手

篠木 技手

芦澤 技手
藤本 技手

山田(千) 技手

鈴木(正) 技手

堀本 技手

徳藏 技手
窪木 技手

金子(政) 技手

橋本 技手

野口(保) 技手
村上 履

森 技手
杉崎 履

昭和十五年
至八月二十四日

同
年
至五月二十四日
至六月二十六日

同
年
至五月二十五日
至九月二十五日

同
年
至五月二十五日
至八月十五日

同
年
至五月二十五日
至八月二十五日

同
年
至五月二十五日
至七月二十五日

同
年
至五月二十五日
至六月二十四日

同
年
至五月二十五日
至七月二十五日

同
年
至五月二十五日
至八月十九日

同
年
至五月二十六日
至九月八日

片山(勝) 技師ノ調査ニ伴フ

同

八木 技師ノ調査ニ伴フ

同

竹原 技師ノ調査ニ伴フ

同

同

森島 技師ノ調査ニ伴フ

橋本 技師ノ調査ニ伴フ

兼子 技師ノ調査ニ伴フ

新潟縣西山油田北部

同

青森縣鯉ヶ澤油田

秋田縣岩見三内油田

新潟縣西山油田北部

長野縣古間油田

三、物理探鑛及試錐ニ伴フ測量
本年度ニ於テ施行シタル物理探鑛及試錐ニ伴フ測量ハ左ノ如シ

(測量地名)

新潟縣北蒲原郡長浦村
神山村

栃木縣鹽谷郡栃木鎮山
宮城縣刈田郡宮鐵山

山形縣飽海郡
秋田縣由利郡院内村、平澤町、金浦町地方

鈴木(昇)技手

吉田履
一丸履

小川技手

久松技手
磯履

金子(政)技手

山下(章)技手

昭和十五年
自六月二十一
至七月六日

同
年
自六月二十一
至十月八日

同
年
自六月三十
至八月二十九日

同
年
自七月二十
至九月三十日

同
年
自八月十二
至十一月四日

同
年
自八月二十七
至十月十五日

池邊技師ノ調査ニ伴フ

同

八木技師ノ調査ニ伴フ

池邊技師ノ調査ニ伴フ

(測量員)

山田(千)技手

鐵羅技手

中澤技手

(外業期間)

昭和十五年
自四月二十一
至四月二十一日

同
年
自五月二十一
至八月二十日

同
年
自六月三
至八月十四日

(記事)

波江野技師ノ調査ニ伴フ

服部技師ノ調査ニ伴フ

西川技師ノ調査ニ伴フ

北海道沙流郡八田鑛山
北海道石狩郡石狩町、生振村地方

北海道鴻舞金山、早川鑛山、滋賀縣
五百井鑛山、京都府大谷、鐘打各鑛
山、島根縣高城鑛山

岩手縣江刺郡栗木鑛山
新潟縣中蒲原郡、南蒲原郡

長野縣大日向鑛山、奈良縣洞川鑛山

江蘇省銅山縣柳泉炭鑛

新潟縣西蒲原郡、南蒲原郡下

中支地域 金屬鑛床

北海道石狩町、當別村、札幌市豐平
町、新潟縣西蒲原郡油田

島根縣簸川村 鷓峠鑛山

北海道石狩郡、厚田郡

北海道釧路郡舌辛炭田

新潟縣北蒲原郡中條町

德藏 技手

昭和十五年 自七月六日
至九月五日

淵田技師ノ調査ニ伴フ

篠木 技手

同 年 自七月二十六日
至十月六日

野口技師ノ調査ニ伴フ

宮澤 技手

同 年 自六月五日
至八月五日

佐藤技師ノ調査ニ伴フ

同

同 年 自八月二十九日
至十月三十一日

同

山田(千) 技手

同 年 自九月十七日
至三月二十七日

西川技師ノ受託調査ニ伴フ

德藏 技手

同 年 自十月九日
至十二月九日

村上技師ノ調査ニ伴フ

堀本 技手

同 年 自十月五日
至十二月十六日

淵田技師ノ受託調査ニ伴フ

窪木 技手

自昭和十五年十月七日
至同十六年一月十七日

飯田技師ノ調査ニ伴フ

野口(保) 技手

昭和十五年 自十月九日
至十一月十六日

服部技師ノ調査ニ伴フ

小川 技手

同 年 自十月十四日
至十一月十三日

波江野技師ノ調査ニ伴フ

同

同 年 自十一月十四日
至十二月三日

波江野技師ノ受託調査ニ伴フ

同

自昭和十五年十二月四日
至同十六年一月四日

波江野技師ノ調査ニ伴フ

中支地域 金屬鑛床

群馬縣利根郡大道鑛山

和歌山縣那賀郡 光永鑛山

同

靜岡縣下相良油田

同

橋本技手

青山技手

山下(章)技手

和田技手

加々美技手

茅山技手

自昭和十五年十一月十七日
至同十六年二月五日

昭和十六年 自二月三十一日
至二月二十一日

同 年 自二月二十七日
至三月二十七日

同 年 自二月二十日
至三月六日

同 年 自三月八日
至三月二十七日

同 年 自三月十八日
至三月十七日

紺野技師ノ受託調査ニ伴フ

佐藤技師ノ調査ニ伴フ

福永技師ノ調査ニ伴フ

同

淵田技師ノ調査ニ伴フ

同

附記 及川囑託ハ興亞院囑託トシテ蒙疆地域ノ地質鑛床調査ノ測量ヲ施行ス

山田(千)技手ハ興亞院囑託トシテ西川技師ニ從ヒ北支地域ノ物理探鑛ノ測量ヲ施行ス

鈴木正技手ハ興亞院囑託トシテ鈴木技師ニ從ヒ蒙疆地域ノ地質鑛床調査ノ測量ヲ施行ス

橋本技手ハ興亞院囑託トシテ紺野技師ニ從ヒ中支及南支地域ノ地質鑛床調査ノ測量ヲ施行ス

ス

堀本技手ハ興亞院囑託トシテ淵田技師ニ從ヒ中支地域ノ物理探鑛ノ測量ヲ施行ス

篠木技手ハ南洋廳囑託トシテ岩生技師ニ從ヒ内南洋ノ地質鑛床調査ノ測量ヲ施行ス

乙、製 圖

一、圖 幅

七萬五千分一圖幅地形原圖ノ本年度中ニ完成セルモノ其ノ數一、着手後未完成ノモノ其ノ數七ニシテ其圖幅名、製圖員、其ノ他左表ノ如シ

(圖 幅 名)		(製 圖 員)		(記 事)	
福	知	山	小宮山	技手	昭和十四年度着手 本年度完成
琴		平	同	技手	同 十二年度着手 本年度未完成
那		智	神村	技手	同 十三年度着手 同
鹽		原	相見	技手	同 十四年度着手 同
久		世	笹原	技手	本年度着手 同
津	和	野	小宮山	技手	同
船		津	秋野	技手	同
和	歌	山	水野	技手	同

二、地 質 鑛 床 圖

(圖幅名)

(種類)

(員數)

(縮尺)

(製圖員)

(記)

(事)

福知山

坑鑛
內床
圖圖

一
五
四

至自
一萬
五百分
分一

秋野見
坑鑛
圖圖
手手

本年度着手
本年度完成

鹽原

其坑鑛
內床
他圖圖

一
三
四
六
八

至自
五
五百分
分一

淺山
岡野
見
坑鑛
圖圖
手手

同
本年度未
完成

鬼首

其坑鑛
內床
他圖圖

一
二
三

至自
五
五百分
分一

淺山
岡野
見
坑鑛
圖圖
手手

同
同

三、油田地形及地質圖

(油田圖名)

(縮尺)

(製圖員)

(記)

(事)

川端

二萬分の一

加々美
鈴木(良)
技手、鐵羅
技手、磯履、
萱間技手

本年度着手
本年度未
完成

龜田
油田南部

二萬分の一

金子
淺岡囃託
和田履、
鈴木技手、

本年度着手
本年度完
成

初山別

三萬分の一

小松
技手、鈴木
(正)技手、
鐵羅技手、
水野技手

同
同

白雪川

二萬分の一

金子
手
技手、和田
履、鈴木(良)
技手

同
同

幌延

三萬分の一

小川
菅原
技手、笹井
囃託、萱間
技手

同
同

四、物理探練圖

(圖) (名)

幌滿鐵山磁力圖外十四圖

(製) (圖) (員)

山下技手、鈴木技手、
小島履、吉見履

(記)

本年度着手 本年度完成

(事)

五、受託調査二件ノ製圖

(圖) (名)

千葉縣大多喜町天然瓦斯外八件

(製) (圖) (員)

荳間技手、安室履、草
深履、高木履

(記)

本年度着手 本年度完成

(事)

六、特別製圖

(圖) (名)

佛印地質圖ハノイ外十三圖

(製) (圖) (員)

秋野技手、鈴木(良)技
手、水野技手、山下技
手、鈴木技手、淺岡囀
託

(記)

本年度着手 本年度完成

(事)

七、製圖參考資料調査

(調査地)

島根縣下

(調査員)

笹原技手

(外業期間)

昭和十六年〔自二月二十日
至三月一日〕

(記)

久世圖幅地域ニ出張

(事)

ニッケル鑛	三六	一六八	磷鑛	四五	六一
コバルト鑛	二六九	三一八	硫黃鑛	二三	三〇
マンガン鑛	一二	一九	湖鹽鑛	二	七
重石鑛	一七	二九	石炭鑛	六九	五六三
水鉛鑛	一五	一五	黑鉛	四	七
バナヂウム鑛	三	三	亞炭	一四	九七
ジルコン鑛	八	一六	原油	九	二一〇
硫化鐵鑛	九	一二	天然瓦	二	四
砒素鑛	四	七	天然瓦	四九	二六六
アンチモン鑛	二	二	泉	五四	三一〇
鑛石	六九	一三九	計	一二七六	三九五〇

二、特別試驗

日本標準規格分析方法制定ノ爲青銅及白色合金ニ就テ又鑛產物分析法協議會ニ於ケル分析方法制定ノ爲粗銅及砒素鑛ニ就テ研究分析ヲ行ヘリ

三、特別調査

本年度ニ於ケル出張調査件名等左ノ如シ

(調査件名)	(府縣名)	(出張員)	(外業期間)	(記事)
鐵產物分析法協議會 重要國防資源鐵物	岡山、大阪 中華民國	磯野技手 平塚技師	昭和十五年 自十月十六日 至十月十五日	興亞院囑託
天然瓦斯	宮崎	磯野技手	同	八木技師ノ調査ニ伴フ
同	千葉	同	同	三土技師ノ調査ニ伴フ
同	同	齊藤村履手	同	
砂鐵及明礬石	兵庫、山口	北島技手	昭和十六年 自二月二十七日 至三月五日	
研磨材原料	長野、富山	石田技手	同	
チタン白原料	大阪、三重	平塚技師	同	

七、報告會

本年度ニ於ケル報告會ハ六回開催シ、各技術官擔當業務ニ就キ報告ヲ爲シ、討議研究セリ

八、庶務及會計(庶務課擔當)

一、職員

本年十月十五日付ヲ以テ左ノ通り任命セララル

任地質調査所技師(一等)
第一部長事務取扱ヲ命ス

商工技師 山根 新次

同兼興亞院技師如故(二等)
第二部長ヲ命ス

同兼興亞院技師 石井 清彦

同兼燃料局技師如故(三等)
第三部長ヲ命ス

同兼燃料局技師 三土 知芳

同第四部長ヲ命ス(六等)

商工技師 波江野 清藏

同第五部長ヲ命ス(三等)

同 鈴木 達夫

兼任地質調査所技師(六等)
第六部長ヲ命ス

同 平塚 隆治

任地質調査所屬
庶務課長ヲ命ス

商工屬 佐藤友治郎

第一部

任地質調查所技師(五等)

商工技師田中元之進

同 (同)

同 近藤信興

同 兼東北帝國大學助教授如故

同 兼東北帝國大學助教授 河野義禮

同 (六等)

商工技師松澤勳

同 (七等)

同 山田節三

同 (七等)

同 千藤忠昌

任地質調查所技手

商工技手早川典久

第二部

任地質調查所技師(四等)
兼第四部

商工技師吉村豐文

同 (五等)

同 菌部龍一

同 (六等)

同 別所文吉

同 (同)

同 岩生周一

同 (七等)

兼第四部

同 片山信夫

任地質調查所技師(七等)
任地質調查所技手

商工技師宮本弘道
商工技手齋藤正次

第三部

任地質調查所技師(五等)
兼第二部第四部

商工技師八木次男

任地質調查所技師(六等)

同 橋本克巳

同 (同)

同 竹原平一

同 兼第一部 (同)

同 金原均二

同 兼第四部 (同)

同 兼子勝

同 兼第一部 (七等)

同 池邊展生

同 (同)

同 片山勝

任地質調查所技手

商工技手森嶋正夫

第四部

任地質調查所技師(六等)

商工技師服部信一

任地質調査所技師六等

同 兼第二部 (同)

同 (同)

同 (七等)

同 (同)

同 (同)

同 (同)

同 (同)

任地質調査所技手

同

同

同

同

同

同

商工技師野口高

同 紺野芳雄

同 淵田隆門

同 西川與志男

同 佐藤光之助

同 村上義朗

同 飯田汲事

同 福永三郎

商工技手 栗原重利

同 直井正作

同 室住正義

同 田村清一

同 白土忠

同 松元重人

同 古澤實

任地質調査所技手

同

同

同

同

同

第五部

任地質調査所技師
兼第一部第二部

任地質調査所技手

同

同

同

同

同

同

商工技手野口勝

同 金井光明

同 金子純

同 蜷川親治

同 井上忠行

同 渡邊光樹

商工技師鈴木達夫

商工技手久松將四郎

同 神村龍造

同 相見角治

同 米谷菊太郎

同 笹原榮雄

同 小宮山湛

同 小松直藏

任地質調査所技手

同

兼興亞院技手

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

商工技手 山田千稻

同

秋野梅太郎

同

兼興亞院技手

鈴木昇

同

芦澤文夫

同

森守之助

同

鈴木良朗

同

萱間泰雄

同

水野初

同

山下章

同

小川晴男

同

加美時寛

同

山下脩二

同

鈴木正一

同

野口保夫

同

金子政利

任地質調查所技手

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

第六部

任地質調查所技手

商工技手 篠木安雄

同 堀本健次

同 鐵羅和夫

同 橋本與太郎

同 德藏勝治

同 藤本辨藏

同 鈴木俊郎

同 窪木時雨郎

同 宮澤芳紀

同 和田政男

同 各務美信

同 中澤次男

同 茅山芳夫

商工技手 石田與之助

任地質調査所技手

商工技手磯野清

同

同 田畑政治

同

同 北島三郎

同

同 齋藤一雄

同

同 川田福三

庶務課

任地質調査所屬

商工屬秋本龍雄

同

同 佐藤東一

同

同 河野輝一

同

同 葛西英二

兼商工屬

同 小笹力

任地質調査所技手

商工技手松崎美房

職員異動

任官

商工技師別所文吉

商工技師奥田稔

商工技師飯田汲事

商工技師 福永三郎

兼東北帝國大學
助教授

河野義禮

兼燃料局技師

三五知芳

兼商工技師 吉村豐文

地質調査所技師 久松將四郎

地質調査所技師 齋藤正次

商工屬 佐藤東一

商工技手 小林勇

商工技手 森嶋正夫

商工技手 早川典久

商工技手 和田政男

商工技手 宮澤芳紀

商工技手 窪木時雨郎

商工技手 德藏勝治

商工技手 茅山芳夫

商工技手 井上忠行

商工技手 小川晴男

商工技手 齋藤一雄

商工技手 渡邊光樹

地質調査所技手 磯崎三郎

地質調査所技手 青山末吉

地質調査所技手 竹田民英

地質調査所技手 藤原健一

地質調査所技手 大島敬義

地質調査所技手 大津光

地質調査所技手 梅澤邦臣

轉任

燃料局技師へ
商工技師 千谷好之助

燃料局技手へ
商工技手 萬芳三

退官

商工技師 奥田稔

商工技手 小林勇

地質調査所技手 川田福三

地質調査所技師 久松將四郎

地質調査所技手 鈴木良朗

二、經 費

本年度ニ於ケル經費ハ機構改正、油田調査、物理探鑛、施設擴充及新ニ地質鑛床調査促進ニ要スル經費ヲ増加シ以テ事業ノ遂行ニ邁進シツ、アリ、即チ

經常部

地質調査

八一、一四三 圓

俸 給

四六、一二三

事業費

三五、〇二〇

臨時部

油田地質精査

六二五、二八八

俸 給

八三、三九四

事業費

五四一、八九四

地質鑛床調査

三四三、八九二

俸 給

六九、八二〇

事業費

二七四、〇七二

鑛床水脈受託調査

五、八六四

俸給

五、四三二

事務費

四三二

以上

三、出版 物

地質調査所報告

第一二三號

昭和十四年度事業報告

地質調査所長

山根

新次

地質要報

第二十七卷第二號

新潟縣川口及竹澤油田第三紀化石報告

商工技師

金原

均二

油田圖說明書

第三十七區 新潟縣新津油田南部地形及地質圖說明書

商工技師

遠藤

六郎

第三十八區 山形縣飽海油田地形及地質圖說明書

商工技師

三土

知芳

第三十九區 北海道稚內油田地質圖說明書

商工技師 金原均二

第四十區 新潟縣鹽谷油田地形及地質圖說明書

商工技師 竹原平一

第四十一區 北海道振老油田地形及地質圖說明書

商工技師 松澤勳

第四十二區 秋田縣八森、七座、瀉西油田地形及地質圖說明書

商工技師 竹原平一

第四十三區 新潟縣川口、竹澤油田地形及地質圖說明書

商工技師 遠藤六郎

第四十四區 北海道幌延油田地形及地質圖說明書

商工技師 渡邊久吉

地質圖幅說明書

福井圖幅

商工技師 藪部龍一

四、文 庫

本年度ニ於テ本邦ノ官廳大學學會會社等ノ交換先ヨリ圖書ノ寄贈アリタルハ五十一箇處ニテ受入圖書數左ノ如シ

官 廳	會 社	計	受 入 圖 書
官 廳	大 學、學 會、圖 書 館 等	計	(地 質 圖) (報 文 類)
一 八	二 九	五 一	二
一 〇 六	二 九 七	四 三 四	三 一

交換先以外ノ官廳學會等ヨリ出版物ノ寄贈ヲ受ケタルモノ四十四箇處個人ノ好意ニヨリ特ニ貴重ナル圖書ヲ寄贈セラレタルモノ十五件アリ、誠ニ感謝ニ堪ヘサル處ナリ

官 廳	會 社	計	受 入 圖 書
官 廳	大 學、學 會 等	計	(地 質 圖) (報 文 類)
六	三 五	三	五 六
二 四 九	四	四	二 四 九

個

計

人

一五
五九

七 七

一八八
四九七

就中左ノ諸氏ハ多數ノ有益ナル圖書ヲ寄贈セラレタリ芳名ヲ録シテ謝意ヲ表ス

合衆國地質調査所要報第二七九號外十四點

橫濱圖幅説明書外九點

朝鮮鑛業第六卷外二十一點

溫泉研究第一輯

エジプト地質圖外二點

片山 信夫
猪間 收三郎

山根 新次

金原 均二

三土 知芳

外國ヨリ圖書ノ寄贈ヲ受ケタルハ地質調査所、大學、學會、圖書館等ノ交換先七十六箇處、交換先以外ノ寄贈先十五箇處、個人一件ニシテ受入圖書數夫々次ノ如シ

(交換先)		(受入圖書)	
地質調査所	歐羅巴	南北亞	亞細亞
大學、學會、博物館、圖書館等	五	米利加	七
計	二五	七	七
	三〇	二九	一〇
			三
			二
			三
			一
			四
			七
			二
			四
			二
			五
			二
			七
			一
			〇
			〇
			一
			四
			一
			四
			一
			六
			三
			一

交換先以外ノ寄贈先

スルト共ニ、陳列館ノ一般ヘノ公開ヲ暫時中止セルモ前年度ニ引續キ支那滿洲方面ノ鑛石標本ハ次第ニ充實シツ、アリ、化石標本ハ新設ノ整理戸棚ニ大部分ヲ收容シ以テ保存ニ便セリ
左ニ本年度中ニ於ケル所員以外ヨリノ寄贈標本及寄贈者芳名ヲ録シ以テ謝意ヲ表セン

(鑛物名)		(産地)		(寄贈者)	
石	綿	北米デンバー	樋口吉造		
燐	石	平安北道加次島	山成不二齋		
同		咸鏡南道端川郡南斗日面	同		
水	滑石	咸鏡北道吉州郡易社面福連洞	宮澤俊彌		
セ	ル	江原道平康郡南面松羅山	木野崎吉郎		
アレ	メント	同 金化郡近北面山峴里	同		
ニ	ツケル	山東省歷城縣桃科莊鑛山	神山貞二		
白	雲	南米アルゼンチナ	堀内鐵夫		
霞	石	江原道平康郡縣内面新城山	淺田化學工業福溪出張所		
霞	閃長岩	同	同		
綫	石	島根縣松代鑛山	加賀山		
石	綿	河北省漆源縣東區煙煤河北西大立馬背	園川馨		

地質調査所職員

(昭和十六年三月末現在)

技師長

山根新次

第一部

部事務取扱師

山根新次

技師 田中元之進

技師 近藤信興

技師 兼 北帝國大學助教

河野義禮

技師 松澤勳

技師 千藤忠昌

技師

山田節三

技師 梅澤邦臣

兼務技師

鈴木達夫

兼務技師 金原均二

兼務技師 岩生周一

兼務技師

池邊展生

第二部

部技師兼 院長 亞院技師

石井清彦

技師 兼 商工技師 吉村豐文

技師 蘭部龍一

技師

別所文吉

技師 岩生周一

技師 片山信夫

技師 齋藤 正次

技師 宮本 弘道

技手 大島 敬義

技手 大津 光

兼務技師 鈴木 達夫

兼務技師 八木 次男

兼務技師 紺野 芳雄

第三部

部
技師兼
料局技師

三土 知芳

技師 八木 次男

技師 橋本 克巳

技師 竹原 平一

技師 金原 均二

技師 兼子 勝

技師 池邊 展生

技師 片山 勝

技手 森嶋 正夫

技手 藤原 健一

兼務技師 松澤 勳

囑託 河田 五郎

囑託 阿部 道起

第四部

部長 技師 波江野 清藏

技師 服部 信一

技師 野口 高

技師 紺野 芳雄

技師 淵田 隆門

技師 西川 與志男

技師 佐藤 光之助

技師 村上 義朗

技師 飯田 波事

技師 福永三郎

技手 栗原重利

技手 田村清一

技手 松元重人

技手 金井光明

技手 蜷川親治

兼務技師 吉村豐文

兼務技師 片山信夫

囑託 松澤武雄

第五部

技師 長鈴木達夫

技手 米谷菊太郎

技手 小松直藏

技手 鈴木昇

技手 直井正作

技手 白土忠

技手 古澤實

技手 金子純

技手 渡邊光樹

兼務技師 小木次男

技手 室住正義

技手 竹田民英

技手 野口勝

技手 井上忠行

兼務技師 兼子勝

技手 神村龍造

技手 笹原榮雄

技手 山田千稻

技手 芦澤文夫

技手 相見角治

技手 小宮山湛

技手 秋野梅太郎

技手 森守之助

課長 榎藤文治郎
屬 小笹力
技手 松崎美房

屬 秋本龍雄
屬 河野輝一

屬 佐藤東一
屬 葛西英二

昭和十七年七月十五日印刷
昭和十七年七月二十日發行

地質調查所編纂

東京市王子區神谷町一丁目四八二番地

印刷者 吉田了太

東京市王子區神谷町一丁目四八二番地

印刷所 東京印刷株式會社

IMPERIAL
GEOLOGICAL SURVEY



OF

JAPAN

REPORT No. 124

TOKYO, 1942